



鎌田地区  
 令和4年1月1日現在  
 総人口 19,745人  
 (前年比 +67人)  
 世帯数 9,212戸  
 発行者 鎌田地区公民館  
 公民館報編集委員会

キラリ☆  
 かまだびと②

おめでとう  
 新成人の皆さん

松本市の令和3年度の新成人は2,661人で、うち鎌田地区では250人の皆さんが成人の日を迎えました。「キラリ☆かまだびと」の第2回では、新成人のお二人に将来の夢や<sup>はなと</sup>二十歳の抱負などをお聞きしました。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| Q 1. いま何をしていますか  | Q 6. 将来の夢   |
| Q 2. 頑張っていること    | Q 7. はたちの抱負 |
| Q 3. 20年間で一番の思い出 | Q 8. 理想の大人像 |
| Q 4. 尊敬する人       | Q 9. 家族へ一言  |
| Q 5. 成人を迎えて心境の変化 |             |

頼りがいのある  
 大人になりたい!

いししんたろう  
**石井慎太郎さん**  
 (両島町会)



4月から  
 夢だった保育士に!

くになかも か  
**國仲百華さん**  
 (南原町町会)



- A 1. 新潟大学で経済学を専攻しています。コロナの影響からオンライン授業がほとんどで、同じ学部の人たちと会える機会がありません。
- A 2. 部活と勉強。部活は吹奏楽部とアメリカンフットボール部を兼部しています。
- A 3. 中学生の時、吹奏楽部の演奏会で「津軽海峡冬景色」を歌ったこと。
- A 4. 友人や先輩・後輩にもいますが、一番は両親です。
- A 5. 二十歳になった実感はあまりなく、またひとつ年を取ったなぁと感じるくらいかな。
- A 6. 公務員になりたい。人々が安心して暮らせるよう、日々の生活をより豊かなものにする手助けをしたいです。特に地域の方々との距離が近いと感じる公務員を目指しています。
- A 7. お金を使いすぎないこと。部活動での出費が多いので、生活費にまわせるよう無駄遣いをしないようにしたいです。
- A 8. 何かあった時に臨機応変に行動できる、頼りがいのある大人になりたい。
- A 9. 色々ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、これからもよろしくお願いします。

- A 1. 松本短期大学で保育について学んでいます。幼稚園や保育園などへ実習にも行っています。
- A 2. 高校の部活引退と同時にピアノを習い始め、現在も一生懸命頑張っています。
- A 3. 中学、高校の部活動。仲間とバスケットボールに励みました。
- A 4. 中学校の部活顧問の先生。初心者の方に基本から丁寧に教えてくださり、バスケットボールの楽しさ、努力をすることの大切さを学びました。
- A 5. 家族と一緒にお酒を飲む機会ができ、その時に大人になったんだと感じました。
- A 6. 子どもの頃、何でもできる保育園の先生に憧れていました。松本市の正規保育士に内定し、夢が実現します。
- A 7. 4月から社会人となりますが、多くのことを吸収し学びの多い年にしたいです。
- A 8. 責任感をもって仕事に一生懸命取り組むことはもちろん、自分の時間も持ちながら自分らしさを大切に笑顔あふれる大人になりたい。
- A 9. どんなときも一番そばで応援してくれてありがとうございました。親孝行ができるよう頑張ります!

20年前はこんな出来事があった年でした

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 2001 (平成13) 年 5月 | 信州スカイパークに総合球技場「アルウィン」完成     |
| 〃 9月             | 世界を震撼させたアメリカ同時多発テロ事件        |
| 〃 11月            | イチローが大リーグで首位打者となり、新人王とMVP獲得 |
| 〃 12月            | 皇太子妃雅子さまが愛子内親王を出産           |
| 2002 (平成14) 年 2月 | ソルトレークシティ冬季五輪 (前回4年前は長野で開催) |

◆2002 (平成14) 年1月の  
 松本市の人口…209,745人  
 (2022年1月は236,968人)  
 鎌田地区の人口…18,020人  
 (2022年1月は19,745人)

鎌田地区の歴史 ⑭



農地が広がる鎌田地区に国道19号線のバイパスが開通

(昭和38年9月7日撮影・高宮町会所蔵)

国道19号線のバイパスが新橋から平田まで開通したのは昭和38年12月で、バイパス完成をきっかけに鎌田地区は急激に住宅地へと変貌していく。

開通当初の道路両側に建物は少ないが、このあと数年のうちに自動車の販売店や給油所、飲食店などが次々と開業している。写真右側の鎌田交差点にある鎌田中学校と鎌田小学校は交通量の激増による騒音が大きいため、鎌田中は昭和45年、鎌田小は昭和46年に校舎を現在地に移転新設している。

写真左に見えるグラウンドは松本市が戦後2年間だけ設けていた競輪場の跡地で、この場所には昭和46年に開明小学校が開校している。

地区公民館ロビーの  
絵画と写真を展示替え

昨年11月から、ロビー正面に両島町会の鎌倉太一郎さん(創元会)が上高地の清流を描いた大作を展示しています。写真サークル「光芒」の皆さんの作品も新作に展示替えしました。

なお、ロビーのテレビでは公民館で活動しているサークルの様子をビデオ放映しています。ご覧ください。



鎌倉太一郎「清流」(油彩画100号)

公民館主催講座

認知症を学ぼう!



紙芝居「ラプリーオールドライオン おじいちゃん、わすれないよ」を真剣に見る参加者たち

12月18日(土)に鎌田地区公民館で講座「認知症を学ぼう」が開催され、小学生17人と大人5人が参加しました。

講師は松本市中央西地域包括支援センターの宮嶋由佳さんで、前半は王様ライオンが認知症によって変わっていく姿を描いた紙芝居と、認知症の人への接し方が分かるアニメーションを鑑賞しました。後半は認知症をテーマにしたカルタゲームで盛り上がりながら、学びを深めました。

今回の講座で取り上げた「認知症」は、自分の両親や祖父母にも当てはまる身近な問題であり、多くの人が認識するまで繰り返して啓発していくべき大事なテーマだと思えました。

雑感

節分に恵方巻きを食べる関西の風習が、テレビCMなどの影響で、最近では全国に広がった。とはいえ、節分といえは、豆を

まいて邪を払い、福を呼び込む「豆まき」を行う家庭はまだまだ多いだろう▼我が家では、「鬼は外 福は内」と大きな声を張り上げて柵に入れた「福豆(炒り豆)」をまく役と、その後ろで、すりこ木を持って「ごもつとも、ごもつとも」と相槌をうちながら歩いて歩く役がいる。子どもが小さかった頃には、結構楽しんでやっていたことを想い出す▼自分の「豆まき」は、季節の変わり目に起こりがちな、病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式だ。コロナウイルス感染症という大きな災いを、そしてコロナという強い鬼を追い払うべく、今年もは鬼を入れて豆をまきたい▼地域の人の一年間の災いを払い、家内安全や無病息災などを願う三九郎が、コロナ禍のためにできなかったところもあると聞く。「豆まき」なら各家でできる。今年の「鬼は外 福は内」の掛け声は、コロナ鬼退散を祈る心の叫びとなるだろう。(小山淳一)